

TOUR 倉敷繊維加工 静岡工場へ 行こう!

倉敷繊維加工 静岡工場は、静岡県掛川市の南端に位置し、防潮堤の先には、広大な太平洋が望めます。

『不織布芯地クランボン』を日本全国へ供給するための生産拠点として、1975年に操業を開始しました。

現在は、芯地のみならず、フィルター基布、マスク基材等のメディカル基布、産業用資材と、幅広い分野の製品を製造しています。また、倉敷繊維加工の未来を担う、放射線グラフト重合技術を活用した『金属イオン除去フィルター クラングラフト』を生産する企画開発部のプラントも第2工場内で稼働しており、お客さまのニーズに応えるべく、日々、生産技術の向上に取り組んでおります。



津波避難塔から撮影

■防災・BCP対策・SDGsへの取り組み (再生可能エネルギー)



津波避難塔(2013年完成)



防潮堤かさ上げ工事中

太陽光発電パネル設置検討

工場敷地内グラウンド

事業所DATA

静岡県掛川市
敷地面積：38,548㎡
建屋延べ面積：9,540㎡
従業員数：約80人

- ・津波避難棟は掛川市と協定締結し、地域の方の避難施設としても利用されます。
- ・工場東のグラウンドの一部を、防潮堤かさ上げ工事のため、2022年10月に掛川市に売却しました。2025年にレベル2（マグニチュード9クラスの地震）の津波に対応した防潮堤が完成予定です。
- ・グラウンドには、太陽光発電パネルの設置を検討しています。

※BCP
Business Continuity Planの略で災害などの緊急事態が起きた際のリスク管理を目的とした事業継続計画のこと。

※SDGs
Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略称。

不織布 製造工程

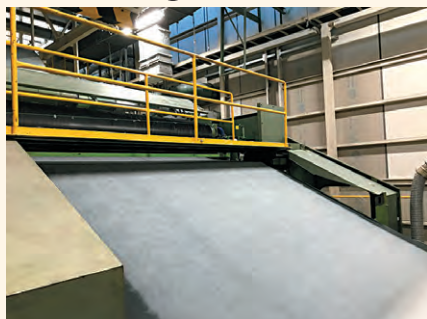
①混綿



不織布の原料の短繊維をブレンドして投入します。



②カード



カード機で短繊維をシート状に並べます。この状態を「ウェブ」と呼びます。

③不織布化(樹脂含浸・熱融着)



▲樹脂含浸(ケミカルボンド法)
ウェブに接着樹脂を含浸、乾燥させて、不織布化する製法です。



▲熱融着(サーマルボンド法)
熱可塑繊維のウェブを熱エンボスロールでポイント溶融させて不織布化する製法です。



後工程

④染色、機能剤付与



顔料や機能剤を分散させた液に不織布を含浸後、マンゲル(絞り機)で絞って乾燥させます。



⑤検反・仕上



検査カメラと検査員の目で製品を検査します。

企画開発部

金属イオン除去フィルター
KURANGRAFT®
<クラングラフト>



カートリッジフィルター



カプセルフィルター

半導体業界などで使用される各種薬液に溶存する金属イオンを除去するカートリッジフィルターです。放射線グラフト重合技術を活用して製造した金属イオン捕集材の機能により、微量の金属イオンを高精度にかつ高速度で捕捉、除去できます。超純水だけでなく、各種有機溶剤、酸、アルカリなど多様な薬液に対応可能です。

主な不織布製品



プレフィルター



マスク用基布



衣料芯地



産業用資材